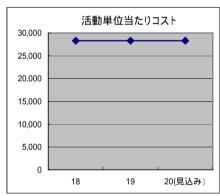
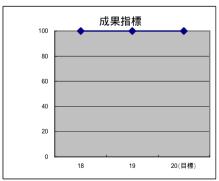
事務事業名	スクールフロンティア事業				予	会計	1	一般	会	計			
	ヘノ ルノロノノイノ 芋未					款	10	教育費					
総 まちづくり	1	魅力ある地域を	↓ <i>△★</i> センチカ‡			項	5	社会教	育費				
総 合 返 の目標(章)	4	胚 刀のる地域へ	1云を加く心力の	りのよう	科目	目	7	人権教	育事	業費			
本 施策(節) 施策の方向	1	平和意識・人権	至尊重			事業	3	スクー	ルフ	ロンティ	ア事業	Ě	
画 施策の方向	(2) 人権教育・人権啓発の推進					作成部署 教育委員会事務局学校教育室等					学校教	育課	
関連する計画等					連	絡先	072	2 958	111	1	内線	4251	
事対象(誰を	• 何:	を)											
業市立幼稚園、	市立幼稚園、小・中学校の教職員												
意図(どうし	ハう	状態にしたいの?	か)										
的 様々な今日的	様々な今日的課題の解決に向けて、教職員の資質向上を図る。												
業対し研修を(
の 学力向上・	人権	教育・多文化共会	生教育・男女共治	生教育等今日的	勺課	題につ	1 10	ての外部	部講的	うを招い かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	ての研	修会を	実施
内する。容													
根拠法令等													
1210.21	-	m1n	40 tr	., 🗆 🗆	#u-	1 -1 -1-1	> +		ムタファ	- -	- +	左座	
事業開始時期	ᄤ	昭和 🔽 平成	18 年 月開始		隹に	はわか	らな	l I	終了年	干皮 半	成	年度	
事業開始時から の状況変化													
市民や議会の要													
望													
実施手法	\square	直営] 一部委託 [] 全部委託		補助金	・貝	加成金] その他	()
委託先	□ 外郭団体委託 名称 □ 民間委託 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					委託内容							
		-VI-J3XH0											
X		分 18年度 19年度				20年度 見込み				活動道	単位当たり)コスト	
			(実績)	(実績) (実績)			•)	30,0	00	, 11 ±13			

		区分		18年度	19年度	20年度		
		<u>Б</u>		(実績)	(実績)	(見込み)		
事	業費	量【1】	(千円)	600	600	600		
人作	牛費	图 【2】	1,098	1,098	1,098			
	마하	正規職員		0.12 人	0.12 人	0.12 人		
	職員	再任用職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	貝数	嘱託職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	女人	臨時職員		0.05 人	0.05 人	0.05 人		
	超:	過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間		
総	事業	養費(【1】+【2】)【A】	(千円)	1,698	1,698	1,698		
		国費	(千円)					
	財源	府費	(千円)					
	源内	市債	(千円)					
	訳	その他 (手数料・使用料等)	(千円)					
	н, ,	一般財源	(千円)	1,698	1,698	1,698		
活動	拁拃	≦標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)		
	研	修実施回数	回	60	60	60		
	教	職員数	人	723	732	723		
活重	加単	位当たりコスト(【A】/【B】	28,300 円	28,300 円	28,300 円			
市目	₹ 1	人当たりコスト(【A】/人口)	14 円	14 円	14 円		





	(<u> </u>		指標名	指標設定の考え方		平成18年度	平成199	平成20年度	
I.	成果指	目			企画提案した学校園数に 対する実施した学校園数		100	100	達成率(%)	100
Ę		ŀ		の割合	実績	100	100	100.0%		
	票	度を測る				目標			達成率(%)	
	1	指標シ		式)		実績				

	市												評価				
	の関与の必要性		1 2 3 4 5 6						7	7 8		9	必要性	分析・評価の説明			
			法令上 の義務	受益者 が不特 定多数	最低限 の生活 水準を 確保	市民の 不安を 解消	社会的 経済的 弱者を 対象	民間だ けでは 負担しき れない	民間だ けでは 供給不 足	色等	Fを 1外	にも受 益があ	有	教職員の資質向上と学校 園からのボトムアップを 通じて今日的な課題の解 決を図ることは重要であ る。			
	性													ତ୍ତ			
	視点	į		分	析のため	のチェッ	ク点		はいい	いえ 該	当 し		分析・	評価の説明			
		T	市民ニース	ズが高い					<u> </u>	7 [学校現場における学力向上をはじめとす					
		Ī	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない									今日的課題は多岐に渡る。園児・児童・生 4の夢と希望をもって白己宝珥に向けた生					
			社会情勢の変化に対応している									徒の夢と希望をもって自己実現に向けた先 進的取り組みに対して支援を講じることは					
	妥当怕	生	性 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない								⊤	妥当である。					
			国・府の事	業と重複し	ていない				U]	1					
			事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい]	1					
			緊急性が認められる]						
			単位コストが適切である(経年、他市比較など)											夏の中から、教職員の			
			受益者負	担の割合は	適当である	3						†ニーズに合わせて、より充実した研修内容 →を精選している。					
\wedge		Ŀ	人員を削減	咸する余地	がない				<u> </u>] `	21820	CV.0°				
分析	効率的	±μ	事業費を削減する余地がない]	Ц					
•		⊢	簡略化できる方法や手段がない								1						
評価		L	市の他事業と重複していない								4						
ΊЩ			民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない														
		⊢	上位の施策(目的)が明確である											- ズに即した研修会や人			
	有効性	华 F	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である									的支援を実施することで、教職員の資質向 上の効果が高い。 					
	, 5, 15,	L	成果を向上させる余地がない							<u> </u>	Ц						
		_	市民の視点にたってサービスが提供されている								=+-						
		L	事業の企画、立案に市民が参加している								-						
	協働性	' ‡ F	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている								=						
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている								_						
			事業の実施に中氏の参加、協力が得られている 成果指標の目標値は適正である							<u> </u>		≤校の−・	ーズに応し	じた対応ができている。 これ			
	達成原	. F								┽┾	╣╴	1100—	/\ \C\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				
	~	- I	成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している							╅╞	Ħ						
	4公	·수	評価						<u> </u>		_						
	TAVE			充実 ✓	現状維	持 📗	方法改善		 .営化·民	間委詞	—— E	□ 縮力	·	E止·休止 □ 完了			
	油 評	邳而	の理由														
-	当 部 学	≠校	園にお					職員の資 る事業で		で成	果か	があった。	と判断でき	き、本市の取り組みは、			
i	评																
	一	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)															
	学	솯校	校現場の活性化を推進するものであり、今後は教職員への周知を一層徹底する。														